岡山発!日の丸ソーラーリボーン 「ソーラーパネルを循環させる "panel to panel"の実現」



株式会社新見ソーラーカンパニー

経営理念

「美しい地球を次世代へ」



一般財団法人PVリボーン協会

経営理念

~太陽の恵みを循環させて 平和で幸福な世界を~

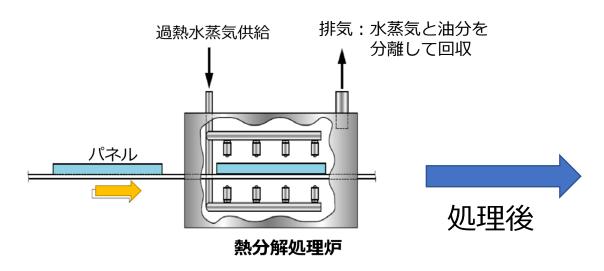
佐久本式熱分解装置(ATMOS)の紹介



「環境に良いと思って販売してきたソーラーパネルが、環境を 汚す廃棄物になってしまうのは耐えられない。ソーラーパネル メーカーとして最後まで責任を持ちたい」と考え、2017年より 試行錯誤を繰り返し、2019年に世界で初めて、使用済ソーラー パネルからCO2を排出せずに高純度マテリアル(ガラス・太陽 電池セル・インターコネクタ)を分解抽出できる『佐久本式 ソーラーパネル熱分解装置』(バッチ機)を開発しました。

特徴

- ①二酸化炭素を排出せずに有機物を分解
- ②高純度のマテリアルの抽出、有機物の資源化





佐久本式ではリボーングラス完成

佐久本式熱分解装置で分解

純度の高いきれいなガラス









工芸作家さんの手によりRebornglass完成

板ガラスの製作も可能に

佐久本式以外の装置で分解

- ・二軸破砕機・大型湿式処理・ブラスト工法
- -ガラス剝離方式など

接着剤が 残っている ガラス



坩堝を侵食 する



ガラスの再生ができない

サステナパネルとリボーンパネルの販売

2023年6月使用済ソーラーパネルを有価物として買い取る買取保証を付帯した 『資源循環型買取保証付ソーラーパネル(サステナソーラーパネル)』を 販売開始。現在特約店を募集中。



が可能・引き取り保証ができる

4

日の丸ソーラーリボーン

Panel to Panel 使用済パネルから新しいパネルへ



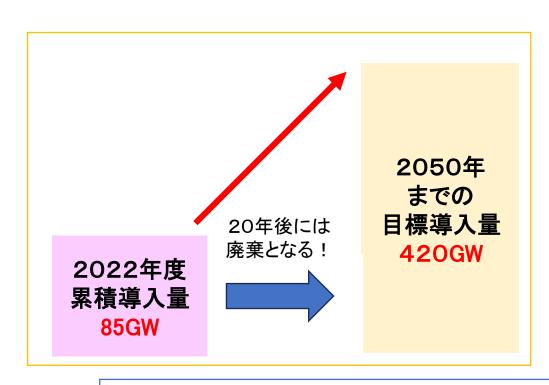
リボーンパネル販売・設置

使用済パネルを新たな資源とし、最新の製造技術でリボーンパネル(純国産パネル)を生産・販売

ソーラーパネル導入目標量

日本政府が掲げる目標

「2050年までに温室効果ガス排出量を80%削減する」



2050年には太陽光発電の導入量 <u>420GW</u>

(2022年度までの累積導入量 85GW)

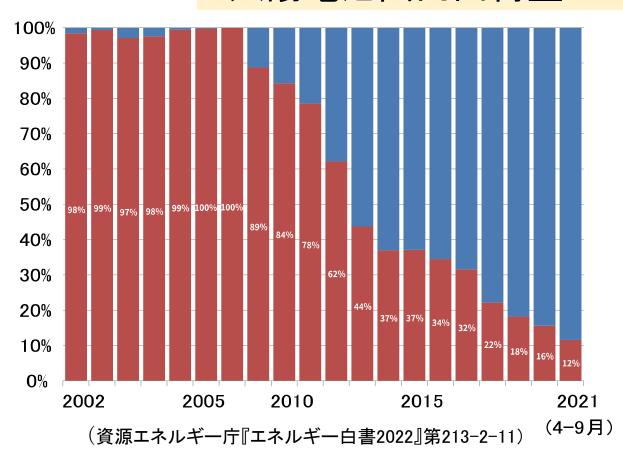


335GWの導入がさらに必要!!

ソーラーパネルの寿命は20~30年 2022年までに設置された85GWは2050年には廃棄の可能性 つまり、実質420GWすべてを導入する必要がある

ソーラーパネル主要生産国は?言うまでもなく

太陽電池国内出荷量の生産地構成の推移



2000年頃: 日本のメーカーが世界市場を牽引 シェアが世界の50%超え

近年:世界の7割弱が中国メーカーのシェア

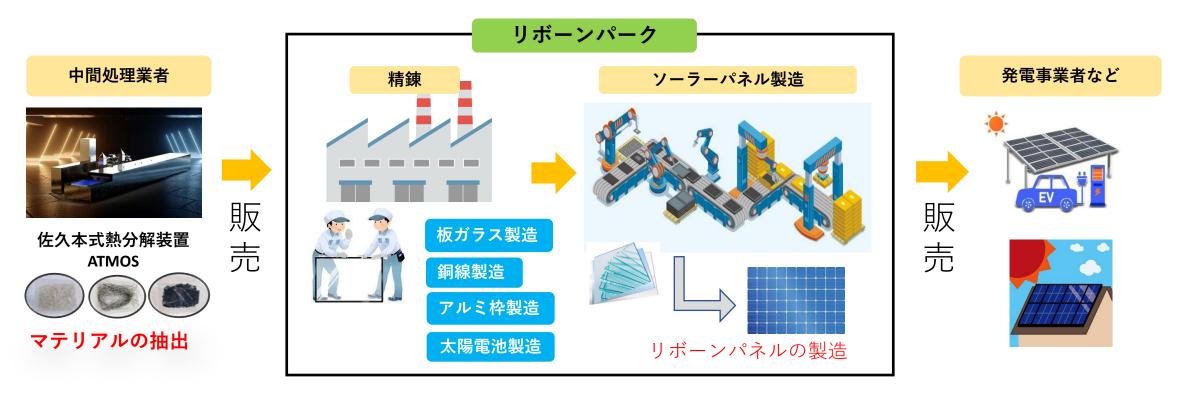
現在: 国産が1割程度

中国に依存している現状

- ・ソーラーパネルそのもの
- ・太陽電池セル
- ・ポリシリコンシェア

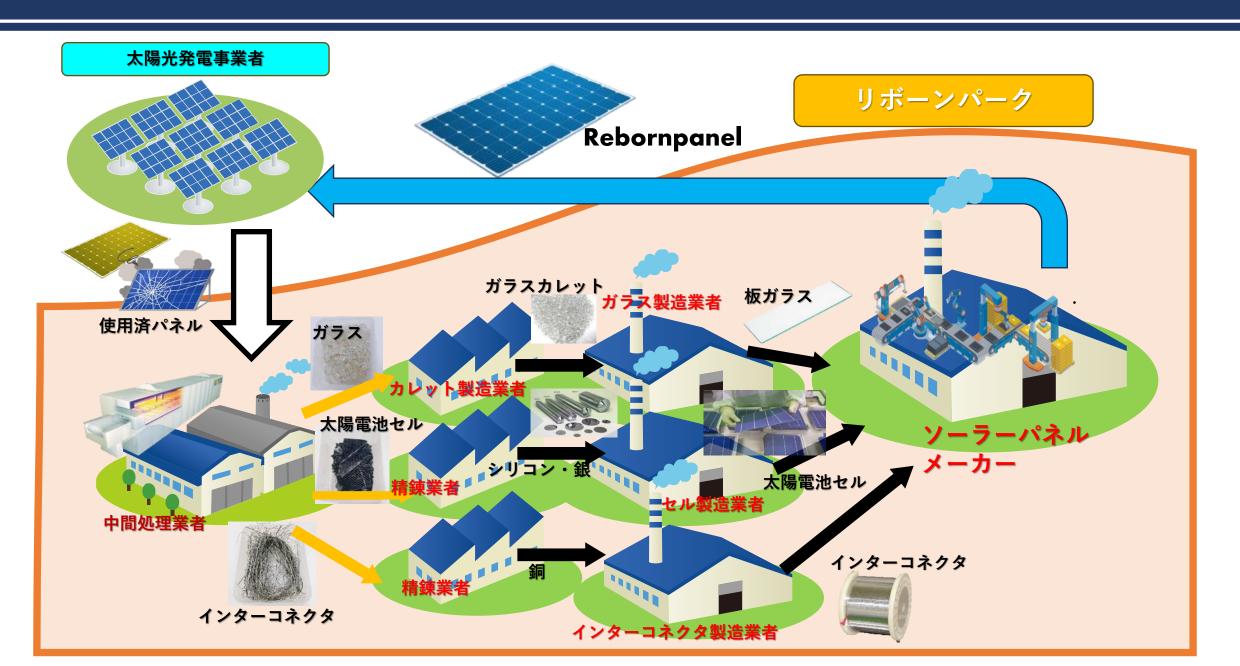
中国に依存したままで良いのか?

ソーラーパネルをリボーンさせる(生産)

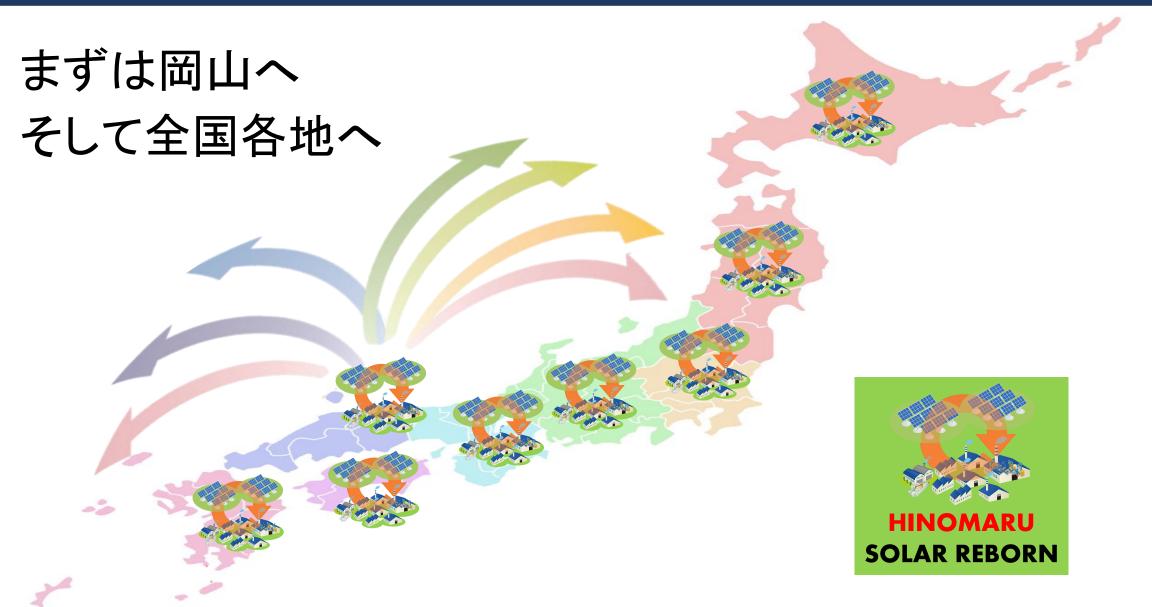


- ・2022年度までに導入した太陽光パネルが廃棄→これをリボーンさせる
- ・80GW分のパネルを、今の技術であれば100GW~120GW分生産できる可能性(古いパソコンから現代のパソコンを作るイメージと同様)
- さらに!!太陽電池セルのシリコン抽出を岡山大学と共同研究を行っている

このリボーンパークをまずは岡山県へ



日の丸ソーラーリボーン



日の丸ソーラーリボーンを世界へ

